

第1回 ほいく誌交流会 『学童保育でつながる大切さ』

ほいく誌部会では、2022年10月2日(日)10時から第1回ほいく誌交流会を開催しました。

今回もオンライン主体での交流会となりましたが、保護者の方や指導員さんをはじめ、21人の方に参加いただきました。



『学童保育でつながる大切さ』を大きなテーマとし、

- ①子どもをまんやかに子育て仲間とつながりあおう♪
- ②遊びでつながる子どもの生活

の2つの小テーマに分かれて、グループ交流を行いました。
(グループ発表の内容は、右に記載)



●グループ交流・グループ発表

- ①子どもをまんやかに子育て仲間とつながりあおう♪
(保護者/中村区・天白区・昭和区・緑区・熱田区、指導員/豊川市、他)

指導員のマスクをした顔しかみたことがない、初めて素顔を見た時に子どもが驚いていた。鬼ごっこのルールを棒を使うなど工夫して、子どもたちなりに楽しんでた。
保護者同士や保護者と指導員との関わり方の様子や考え方が変化した。行事がどれくらい復活したかという話もあった。子どもが楽しく、毎日すごせるようにやっていけたらいいかなと思いました。

- ②遊びでつながる子どもの生活
(保護者/津島市・守山区・中川区・熱田区、指導員/守山区・豊川市、他)

コロナ禍でマスクをしていてなかなか表情がみえない。マスク生活を子どもたちは受け入れていて、指導員さんの素顔が見えた時に楽しんでいる様子があった。
父母会がZoomなどのオンライン会議となり参加しやすくなったという話もありました。ほいく誌を読む機会があり、短時間・スキマ時間で読める記事がいっぱい書いてある！
ほいく誌のことについて今までさらっと読んでいたけれど、ためになるなと感じました。

●参加者アンケート(抜粋)

他の学童の状況が聞けたり、指導員さんからの話も聞け、よかった。10人程度のグループということで、みんなの話が聞けてよかった。コロナ流行前後の子どもたちや保護者会などの違いについて、話が聞けてよかった。

ほかの学童さんが知れてよかった。
ほいく誌を開いて、読むきっかけになった。



コロナ禍での各学童の取り組みを聞くことができ参考になりました。また、ほいく誌でもコロナ禍における記事が多いので興味深く読んでいます。もっと他の保護者にも伝えていけたらと思います。

ぜひ全員画面に顔は出して参加してもらえたら、より交流が深まったのではと思いました。

他の地域の学童の様子分かり、お互いの意見交換ができてよかったです。自分の地域の学童保育所はかなり制限が少なく、子ども達が伸び伸びと生活しているんだなあと思いました。



実際に、現役の保護者会役員が多いという点から、これらの中身を考えると、テーマとしては、保護者会役員さんの苦悩的な点で話ができたら盛り上がるのかな?と思いました。

イベントの開催具合が聞けてよかったです。元を100としたときの今の開催%が何%くらいかというのは参考になりました。

●今後の予定

- **第2回ほいく誌交流会**
2023年1月28日(土) 19時30分開始
- **第2回ほいく誌普及拡大会議**
2023年2月19日(日)午前 予定

* 詳細は後日改めてご案内します



がくくん



いちゃん



【ほいく誌ファンとは?】

県内各地で行われている『日本の学童ほいく』の普及・拡大活動を紹介し、みなさんの地域での活動に活かしてもらうための情報紙です。
※文中の「ほいく誌」は、月刊誌『日本の学童ほいく』のことをあらわしています。

ほいく誌の購読料391円/冊(定価)は、約2/3が全国学童保育連絡協議会の制作費や活動費に、約1/3が還元金として愛知学童保育連絡協議会の収入の一部となり活動費に充てられ、活動を支えています。